

令和元年度長崎県中学校総合体育大会
剣道競技実施要項

1 日 時 令和元年 7月27日(土)

開 館	8:20 (定刻より早く開館しない)
受 付	8:20～9:00
竹刀検量	8:20～9:15
練習時間	8:30～9:15
審判会議	9:10～
諸 注 意	9:15～(アナウンスにて行う。全登録選手が聞くこと)
監督会議	9:25～
競技開始	9:45 試合順(1)個人戦(2)団体戦

2 会 場 森山スポーツ交流館

諫早市森山町下井牟田1145番地 TEL 0957-35-2888

3 参加資格

- (1) 参加選手は、各郡市町中学校体育連盟加盟校に在学し、学校教育法に基づく当該中学校生徒とする。
- (2) 各郡市町中体連主催大会において選抜された単一校のチーム及び個人で、当該中学校長が認めた生徒とする。
- (3) 引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員(学校教育法施行規則第78条の2に示されている者。以下同じ。)とする。
- (4) 大会では外部指導者(コーチ)をおくことができる。外部指導者(コーチ)は日頃から指導に携わっている者で、当該校の校長が認めた者とする。ただし、当該校以外の中学校教職員は認めない。また、同一人物が複数校の外部指導者(コーチ)にはなれない。
- (5) 長崎県中学校体育連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

4 参加制限

- (1) 各郡市町からの出場チーム数・個人数は、長崎県中学校体育連盟参加制限を適用する。
- (2) チーム編成は監督1名、コーチ1名、選手5名、補員2名の合計9名以内とする。ただし、選手編成が不可能な場合は、下記の通りとする。
 - ① 4名編成の場合は、次鋒をあける(不戦負け)。
 - ② 3名編成の場合は、次鋒と副将をあける(不戦負け)。

5 競技方法

- (1) 団体戦は予選リーグ・準決勝リーグの後、決勝とし、勝者数法によって勝敗を決する。ただし、参加校数によっては、予選リーグの後、準決勝・決勝とし、勝者数法によって勝敗を決する場合がある。令和元年度に限り、男女ともに3位決定戦を行う(開催地枠出場校決定のため)。
 - ① 参加校数が14校以上の場合は、参加チームを2～4チームでA・B・C・D・E・Fの6パートに分けて予選リーグを行い、A・B・Cパートの各1位チーム、D・E・Fパートの各1位チームによる準決勝リーグを行う。その後、準決勝リーグの1位チームによって決勝を行う。
参加校数が13校以下の場合は、参加チームを2～4チームでA・B・C・Dの4パートに分けて予選リーグを行い、A・Bパートの各1位チーム、C・Dパートの各1位チーム

による準決勝を行う。その後、準決勝の勝者チームによって決勝を行う。

- ②予選リーグについては、試合は3本勝負、時間は3分、延長なし。勝敗が決しないときは引き分けとする。リーグ内における順位のつけ方はチームが勝ちの場合は2点、引き分けの場合は0.5点、負けの場合は0点とし、得点・チーム勝数・勝者数・得本数の順で勝者チームを決める。なお、同数の場合は、最終試合者の中から任意の代表者による決定戦を下記の要領で行う。

※ 3校同数の場合、試合は3本勝負、時間は3分、延長は勝敗が決するまで行う。任意の代表者は試合ごとの変更を認める。試合順は同じとする。2校同数の場合、試合は1本勝負、時間は3分、延長は勝敗が決するまで行う。

- ③準決勝リーグについては、試合は3本勝負、時間は3分、延長は2分の1回、勝敗が決しない場合は引き分けとする。得点・チーム勝数・勝者数・得本数が同数の場合は、任意の代表者による決定戦を上記5（1）②に準じて行う。

- ④準決勝・決勝については、試合は3本勝負、時間は3分、延長は2分の1回、勝敗が決しない場合は引き分けとする。ただし、チームの勝敗が決した場合、延長は行わない。両チームの成績が勝者数・得本数ともに同数の場合は、最終試合者の中から任意の代表者による決定戦を行う。試合は1本勝負、時間は3分、延長は勝敗が決するまで行う。

- (2) 個人戦はトーナメントとし、試合は3本勝負、時間は3分、延長は勝敗が決するまで行う。シード順位決定戦は行わない。
- (3) 参加申込後のオーダーの変更は認めない。
- (4) 個人戦・団体戦において試合が連続する場合は、3分間の休憩を入れる。個人戦は面を外して3分経過後に面をつける。団体戦は前試合の相互の礼から3分経過後に面をつける。

6 競技規則 全日本剣道連盟試合規則・審判細則、剣道試合・審判運営要領および本大会の申し合わせ事項により行う。

7 申し合わせ事項

- (1) 足袋・サポーター・テーピング・コルセットの使用については、各試合場の審判主任に監督またはコーチと選手で申し出て許可を得る。サポーター等で底にゴムや革、滑り止めを貼った物の使用は禁止する。
- (2) 面金を黒塗りにするなど、通常の配色でない面の使用を禁止する。
- (3) 面乳革は大きさ、模様を含めて華美にならないように配慮し、黒色または紺色とする。
- (4) 面紐の長さは、結び目より40cm以下とする。長い場合は試合の前後で切らせる。面紐の結び目の位置が高く、危険が予測される場合はつけ直させる。
- (5) 竹刀の重量（男子440g以上、女子400g以上）及び長さ（114cm以下）、剣先の太さ（男子25mm以上、女子24mm以上）の測定を実施する。柄革は模様のない無地の物で、滑り止め（ゴム等）がついた物の使用を禁止する。また、弦の色については、白・黄色が好ましいが、華美にならないよう配慮する。
- (6) 不正竹刀（ビニールやテープを巻いた物・異物を混入した物・検印のない物）を使用した場合は試合規則19条を適用する。リーグ戦において不正竹刀の使用があった場合、そのリーグ戦に補員を出場させることはできないが、その後のリーグ戦・トーナメント戦には出場させることができる。
- (7) 両面に模様が入ったつばの使用は禁止とし、相手に向く側のつばの色は革色・白色とする。それ以外の物を使用している場合は、その場で取り替えさせる。
- (8) 垂れネームは「〇〇中」まで記入し、黒又は紺の布地に文字は白とする。同チームに同姓がいる場合は、名前の頭文字を記す。
- (9) 道場名等の記入された剣道着・袴の使用は禁止する。また、試合上判定に支障をきたす（華美なものを含む）ような剣道着・袴・剣道具への刺繍・紋章等をつけない。
- (10) 「変型な構え等の防御態勢（三所隠し）」をとった場合は、1回目は「合議」の上「指導」、2回目以降は「合議」の上「反則」とする（公正を害する行為）。
- (11) 試合の公正を害する行為や不当な押し出し、抜き胴への足かけ、かち上げや振り倒し等の危

険な行為に対する反則は厳格にとる。その場合、主審の宣告に際しては教育的配慮により選手にわかるように説明する。また、他の件で合議し、反則を取る場合も取らない場合も両者に説明する。

- (12) 突き技は禁止とし、反則とすることもある。
- (13) 団体戦では原則として監督は選手席入りすることが望ましいが、試合進行の関係上、監督が選手席入りできない場合はコーチのみの選手席入りも可とし、異議申し立ても認める。個人戦での選手席入りは、監督・コーチ・個人戦出場選手のみとする。
- (14) 疑義のある場合は、当該者の試合終了までに監督がその試合場の審判主任に異議を申し出ることができる（審判主任の説明を、コーチも一緒に聞くことができる）。なお、コーチによる異議申し立てはできないが、同校生徒の試合が2試合以上で同時に行われ、監督不在になった場合に限り認める。
- (15) 選手席への時計の持ち込み（監督・コーチの腕時計やビデオ・タブレット等を含む）、および監督・コーチからのサインなどによる指示等は禁止する。また、応援は拍手のみとする。
- (16) 延長戦が長引いた場合、開始後15分が経過した時点で給水時間をとる。選手が試合場内で面をとった時点から審判主任が5分計測し、審判員は控え場所へ退場する。給水中における監督から選手への指導は認めない。5分経過後、審判主任が面をつけるよう指示してから試合を再開する。

8 組 合 せ

個人戦及び団体戦の組合せは、各郡市町代表及び専門委員が厳正に抽選し決定する。なお、団体戦・個人戦とも平成30年度長崎県中学校剣道競技新人大会団体戦入賞校・個人戦入賞者の地区には入賞校・入賞者の数だけシード権を与える。

- 9 表 彰
 - (1) 団体戦優勝校に優勝旗と賞状を、準優勝校に賞状と準優勝杯を、3位校に賞状を授与する。
 - (2) 個人戦1～3位の選手に賞状を授与する。

10 申込方法

別紙申込用紙に必要事項を記入し、学校長の押印を受け、令和元年6月25日（火）必着で原本1部を長崎県中学校体育連盟事務局に提出する。コーチ申請については、必要事項を記入し、写真を貼付したコーチ申請書を参加申込書と同時に提出する。

なお、申込みは各郡市町中体連事務局より一括して申し込むこととする。また、参加料についても各郡市町中体連事務局が一括して長崎県中体連事務局に振り込むこととする。

11 参 加 料

参加生徒一人あたり500円とする。原則として入金後の返金はしない。

12 九州大会出場資格

団体戦1～3位の学校、個人戦1～3位（ベスト4）の選手は8月3日（土）～8月5日（月）に長崎県大村市で開催される九州中学校剣道競技大会の出場権を得る。

13 全国大会出場資格

団体戦優勝校、個人戦1・2位の選手は8月21日（水）～8月23日（金）に大阪府大阪市で開催される全国中学校剣道大会の出場権を得る。

14 そ の 他

- (1) 本大会の団体戦入賞校・個人戦入賞者の地区には、入賞校・入賞者の数だけ令和元年度長崎県中学校剣道競技新人大会のシード権を与える。
- (2) 場内での横断幕・部旗の掲示は禁止する。また、選手席への千羽鶴や竹刀袋への不必要な飾り

の持ち込みを禁止する。

- (3) 飲食物等のごみなどは各学校で持ち帰る。
- (4) 監督・コーチ・選手・役員のみ入場できる区域には、その他の者は立ち入れない。その他の事項についても係員の指示に従う。
- (5) 前日7月26日(金)の13:30～15:30を練習場として開放する。
- (6) 監督・コーチの服装は、上は白色、下はグレーとする。
- (7) 九州大会出場資格を得たチーム・選手は当日、参加費(1人1、500円)を支払う。
- (8) 団体戦参加校はオーダー用紙を下記の要領(模造紙1/4程度の大きさ、左側から学校名、先鋒、次鋒、中堅、副将、大将の順で記入)で作成し、当日、受付時に提出する。

○ ○ 中					
-------------	--	--	--	--	--

縦：約27cm

横：約79cm